

テーマ

この町で生まれ、出会い、語り合う喜びと感謝

目標

5校園の特色ある活動を推進・連携し子どもの夢と希望をはぐくむ。

今年度の取組紹介

◇「助けられる人」から「助ける人」

平成25年度から、協議会全体で継続的に取り組んでいる「防災教育」は『キッズ消防士・ジュニア救命士認定制度』に基づき、子供達は各学校園カリキュラムの中、授業で「防災力」について学んでいます。

また「西中防災セミナー2016」「右京地区防災訓練」「2016 神功学びフェス」等のイベントを開催し、消防署、消防団、防災隊、防災士等の地域ぐるみの協力を得て、子どもたちを巻き込んでの防災体験教育を行ってきました。子どもたちは幼稚園から中学校までの11年間の学びをつなぎ、「自分を守り、人を助ける力」を少しずつ身につけてきました。

少子高齢化の波が押し寄せるニュータウンの子どもたちに今後も ～「助けられる人」から「助ける人」へ～ のスローガンで「防災」を問いかけつづけます。



今年度のまとめ

幼稚園・小学校・中学校で、消防局、消防署、消防団、防災隊の指導・協力のもとに、防災プログラムを企画し、防災意識の高い子どもを育てることを目指し3年目を迎えました。

「助けられる側から助ける側へ」を児童、生徒に促し、それぞれの授業や活動を体験しました。防災の取組を継続するためにも、教員、地域で目的と方法の問題点を見直し、『キッズ消防士・ジュニア救命士認定制度』を軸に子ども達にとってより良いプログラム作りが進みました。

各種ボランティアの活動が年間を通じて定期的、継続的に行なうことができ、学校支援の輪は保たれていますが、地域全体に事業の周知徹底はいまだ途半ばと思われます。

来年度に向けて

- ・取組の効果の検証を行ない、活動の取捨選択をし、運営方法、形体の簡略化を計りたい。
- ・細やかな広報活動を心掛け、事業の理解徹底と活動への参加者を募ります。
- ・もっと子どもたちの声を聴き、子どもが自ら動けるエネルギーを引き出したい。

テーマ

目 標

地域と共に心を耕し、夢を育む生徒の育成

- ・子どもたちの豊かな学びの場をつくりあげていくため、図書環境、地域環境、地域とのつながりを意識できる環境の整備を行いながら、子どもたちが地域とのつながりを感じられる取組へとつなげる。
- ・防災体験学習やゲストティーチャー招聘などの事業を通し、地域の多くの方々との出会いやつながりをもつことによって、学校が地域の課題(防災)への取組の場となり、子どもたちの心や夢を育む豊かな学びの場となるようにする。・中学生を地域のリーダーとして小中協同の防災訓練の取組をすすめる。

今年も中学校を中心とした地域の防災活動、人と人との絆を大切に地域との交流を深める取組をポイントとして活動を行いました。

◆防災セミナー

7月30日(土)、消防署や消防団ほか様々な団体の協力を得て防災セミナーを行いました。児童・生徒、保護者や地域住民あわせて、170名を超える参加の中、「もしもの時のために…心の準備をしておこう!」をテーマに「お話を聞こう」「見てみよう」「体験してみよう」という三つのセッションに取り組みました。今年度はD-PAT(災害派遣精神医療チーム)やD-MAT(災害派遣医療チーム)の方々から実際の被災地での活動について話を聞いたり、チーム対抗でバケツリレーや毛布を担架の代わりに使ってリレーを行ったり、非常食作りや様々な防災グッズの見学を行いながら、生徒たちは、「自分たちが地域防災の担い手である」ことを感じる事ができました。



◆地域一斉清掃

12月3日(土)中学校周辺の一斉清掃を、地域の方々と共に取り組みました。中学生に加えて自治会、少年スポーツ団体など、総勢130名ほどの参加があり、中学校・神功小学校・神功幼稚園周辺の落ち葉清掃・溝掃除に汗を流しました。「ご苦労様」と声を掛けて頂き、生徒たちは地域の一員であることを実感していました。



地域ボランティアのみなさんによる日々の環境整備活動・図書室支援活動において、中学校では地域の方々と交流がごく自然な当たり前の風景となっており、生徒は地域の人々とふれあい、見守られていることを理解し、安心して学校生活を送ることができています。また「防災セミナー」や「校区一斉清掃」においては、貴重な体験を得ることにより防災や地域環境への意識が高まると同時に、普段は学校と直接かかわることがない地域の方々と接することで、地域住民としての自覚も芽生えています。

地域における中学生の存在が、防災活動でも重要になってきています。「防災セミナー」の中身も含め、取組のより一層の充実と改善を図り、「頼られる存在」としての自覚をもたせたいと考えています。また来年度は、学習面においても地域の協力を得るなどボランティアの皆さんと一緒に活動する機会を増やしていくことによって、さらに地域の一員であるとの意識と同時に感謝の気持ちをもたせられるようにしていきたいと考えています。

テーマ

学校が好き、地域が好き、右京はみんな一つ

目標

地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる今年度の取組紹介

○右京地区防災訓練（10月30日）

晴天の中、右京地区防災訓練が実施されました。1ヶ月前から6年生が防災訓練ポスターを描き、掲示でアピールして当日を迎えました。消防訓練や煙体験、大声コンテスト等、地域住民や児童、小学校職員も多数参加して体験し、防災意識を高めました。校舎内消火栓を使った、教職員による放水訓練も行いました。



○北部会館「地域との交流会」（1月14日）

今年で6回目を迎える北部会館での「地域との交流会」は、多くの保護者や地域の方々が来場し、盛会のうちに終わりました。かわいい幼稚園児の歌、小学生のダンス・歌やお箏の演奏、平城高校の弦楽合奏や、地域劇団による演劇、奈良の歴史をたどる16ミリ映画といった多彩なプログラムを楽しんでいただき、地域の方々と交流がますます深まりました。



<来場者感想より>

- ・昨年初めて参加し、今年も楽しみにしていました。右京が好きになります。1日でも長くずっと、この笑顔の子どもたちを守ってほしいです。
- ・みんなで仲良く睦まじく、右京の子どもたちの成長が楽しみです。
- ・子ども達の演奏・歌・踊り、みな自分達で楽しんでいました。地域の人も元気になります。素晴らしい。

今年度のまとめ

- プール学習と水泳教室に、地域の方と共に4年連続で外部機関から講師を招聘したことは、児童の泳力向上に成果がありました。泳げることに自信をもち、意欲的に授業を受ける児童が増えました。
- 消防署の協力も得て各学年で系統的に取り組んでいる防災学習や、地域の防災訓練への児童の積極的な参加等を通じて、防災や地域の一員であることの意識をより一層高めることができました。
- 北部会館での地域との交流会は、多くの応援感想をいただき、年々、地域と保護者、児童等のきずなを深める取組になってきています。うれしいことです。
- 環境ボランティアさんの活動や万青さんの学習支援、右京おはなしの会の活動は学校力を高める大きな一助となっています。

来年度に向けて

- 今年度のテーマ・目標・事業を継承していきます。
- 校区全体の統一した防災学習を実施し、小中一貫教育地域の一員としての意識を高めます。

テーマ

地域と共に心を耕し、夢を育む生徒の育成

目標

『自分がすき、友達がすき、この町がすき』と言える神功っ子を地域と学校が連携協力して育てていく。

今年度の取組紹介

◆学びの場を共に、豊かに！！ 学びフェス2016

7月30日（土）に防災をキーワード実施しました。西大寺北地区自主防災・防犯会による劇「避難所開設」のDVD映写会、北消防署や女性消防団のイベント、奈良大学の音楽サークルの演奏、地域の福祉協議会による点字体験、文化サークルによる茶道体験・紙芝居・野草調べ・空気砲、スポーツ団体のサッカー体験、大声コンテスト、防災クイズ、非常食体験、防災おやつ作り、と子どもたちだけでなく大人もともに学び合う機会になったと思います。参加者は児童84名、地域46名、他平城高校生ボランティア9名でした。地域のイベントの一つとして定着しつつあると感じています。

**◆奈良・地域との出会いを演出したゲストティーチャー招聘事業**

なら観光ボランティアの会や奈良外国語観光ガイドの会の協力による外国の方へインタビュー体験、各学年の防災学習、奈良筆、理科実験、地域の方々による平城NTの歴史、車椅子・高齢者擬似体験、能楽体験、拓本体験と多彩な内容を子どもたちは受講することができました。外国の方へのインタビュー体験では、子どもたちがお礼に作ったしおりの学校の住所を見て、ポーランドから手紙が届き、紹介すると子どもたちは大変喜んでいました。また、平城NTの歴史の授業後に、地域の方々から手紙が届き、子どもたちは「私たちのこと、こんなに思ってくれているんだ」と実感していました。



今年度のまとめ

地域ボランティアの方々に見守られて、安心して学校生活を送ることができています。また、ゲストティーチャー招聘事業では、貴重な体験を得ることにより防災や地域への意識が高まっています。このような取組を通して、子どもたちの地域行事への参加や地域清掃などのボランティア活動への意識も高まり、参加者も増えてきています。防災体験学習事業では、右京小学校とも連携を取り、各学年とも同じ内容で実施することができました。「助けられる側から助ける側に」をテーマとして小学生の自分たちにもできることがあることを知る機会となりました。

来年度にむけて

学びフェスについては、西中校区全体のものとして位置づけ、小中で合同開催にするなどしていければという声もあがっています。さらに、防災体験学習事業の講師についても、将来は地域の方にしてもらえればよいのではと提案されました。来年度は、今年度の事業を継続しながら、広報活動にも力を入れて取り組んでいきたいです。

テーマ

幼稚園が好き、地域が好き、右京はみんな一つだ！

目標

地域と連携しながら心豊かで生き生きと活動する幼児を育てる

今年度の取組紹介

○ 地域の教育力を取り入れて 【子育て支援事業】

地域のボランティアのかたの協力を得て、毎月1～2回2歳児と3歳児の未就園児保育を行いました。在園児と一緒に遊ぶ・おはなし会や音楽を楽しむ会やお楽しみ会等の行事を一緒に行う・制作や楽器遊び等の保育を行ってきました。21名の登録があり、未就園児の保護者から「毎回楽しみにしています」「もっと幼稚園へ行きたいと言います」等の感想を聞かせていただきました。在園児は進んで遊びに誘い遊び方を教える等優しく接し思いやりの心が育っています。

○ 保育参加 【七夕集会】 【しめ縄づくり】

・七夕集会に地域の万年青年クラブの方が参加してくださいました。一緒に笹飾りを作って笹につけ、一緒に歌を歌ったりおやつを食べたりした後、万年青年クラブの方は手品を披露してくださいました。「幼児といると自然と笑顔になりますね」「元気をもらえます」「次はわらべうた教室ですね」と楽しみにし参加者も増えています。園児も優しく穏やかに話しかけてくださるので自然と自分から挨拶をしたり話しかけたりして地域の方とのふれあいを楽しんでいます。



・地域の方にしめ縄のつくり方を教えていただき親子でつくりました。学校評議員や卒園児の保護者も参加してくださいました。藁をたたき、ねじって形にしていきました。「少し難しいかなと思いましたが丁寧に教えていただき完成してうれしいです」「お正月に飾ります」と喜んでくださいました。



今年度のまとめ

- 地域の方々・保護者・地域の学校園との交流や触れ合いで、人の温かさに触れ人と関わる心地よさを感じ、感謝する心や思いやりの心、コミュニケーション力が育ってきています。地域の方々と様々な経験をすることで遊びの幅も広がり、体験したことを遊びに取り入れ友達と協力・相談しながら意欲的に遊ぶ姿にもつながりました。
- 地域と共に幼児を育てる取組として保育参加を計画的に多く取り入れたことで、家庭での共通の話題が増え園児の成長をその都度感じていただくことができました。地域や家庭への園教育の発信・理解・協力体制の構築にもなり、家庭教育の向上にもつながりました。

来年度に向けて

地域の中の幼稚園として取り組んできた事業を神功こども園でも継続して取り組んでいきたいと考えていますので、右京と神功両地域と交流・連携ができるよう相談し計画していきたいと思います。

テーマ

ふれあい・つなごう・笑顔の輪

目標

身近な環境や様々な“ひと・こと・もの”とのかかわり、体験を通して感動を共有できるような場の構成や環境づくりの工夫を幼稚園・地域が協働し推進する

今年度の取組紹介

今年は平成29年4月からのこども園への移行に向けて、園舎の増築・改修工事があり、それに伴う園内環境の見直しの年でもありました。地域の方の協力で、菜園も春以降順次、場所を移動していただき、昨年と変わらず、子どもたちは菜園活動を継続して行うことができました。

『〇〇さん、お水たっぷりあげてね。』と言ってたね。」「今、3回目だよ」と言い合いながら、ジョウロを持って畑まで何度も往復して水やりをしていた子ども達。

地域の方に教えてもらいながら、今年もスナックエンドウ、タマネギ、ジャガイモ、トマト、ミニトマト、キュウリ、ナス、ピーマン、シシトウ、トウモロコシ、小玉スイカ、カボチャ、サツマイモ、ネギ、ダイコン、ハクサイ、ブロッコリー等たくさんの野菜を園内で育て、子どもたちは年間通して栽培の楽しさや大変さ等に触れることができました。

また、来年度からは3歳児も園内で生活する為、より安全にと畑を囲っていたブロックも取って、現在は木材で柵作り中です。ドリルで穴をあけたり、防腐材を塗ったりしてくださっていた姿に興味津々の子ども達。少し、一緒に作業をさせてもらったことも嬉しかったようです。



今年度のまとめ

こども園への準備の年、そして幼稚園として最後の一年となり、園内環境整備や体験活動の充実に重点的に取組ました。

工事に伴い、畑や虫小屋の場所移動や、絵本の部屋の代わりにリズム室の一角とみんなの広場に絵本コーナーの新設等、たくさんの地域の方、保護者の方の協力を得ることができ、子ども達が主体的に活動できる環境を整えることができました。地域の方との交流（環境整備活動、絵本の読み聞かせ活動、ふれあい菜園活動、広報活動等）、様々なふれあい事業（科学遊び、運動遊び、英語で遊ぼう、わらべ歌遊び等）を通して、子どもたちは感動を共有し、様々な人との交流を広げることができました。保護者からも「家ではできない様々な体験をさせてもらえて良い」「子どもと一緒に地域の方と接することができ、いろいろ教えてもらえた」等の声が聞かれました。

来年度に向けて

右京幼稚園・神功幼稚園・神功保育園の三園が一つになることで、両地域の方と一緒に、新たな神功こども園としての事業の進め方を模索していきたいと思います。

また、園児数が増加するので活動によっては全園児で行ったり、各学年で行ったりする等取組の持ち方を工夫し、地域との交流やこ小の連携を継続し、充実させていき、子ども達に様々な“ひと・こと・もの”とのかかわりを保障していきたいです。